

教育委員会の事務の管理及び執行状況の  
点検・評価報告書  
(平成26年度分)

平成27年12月

豊前市教育委員会

## 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価

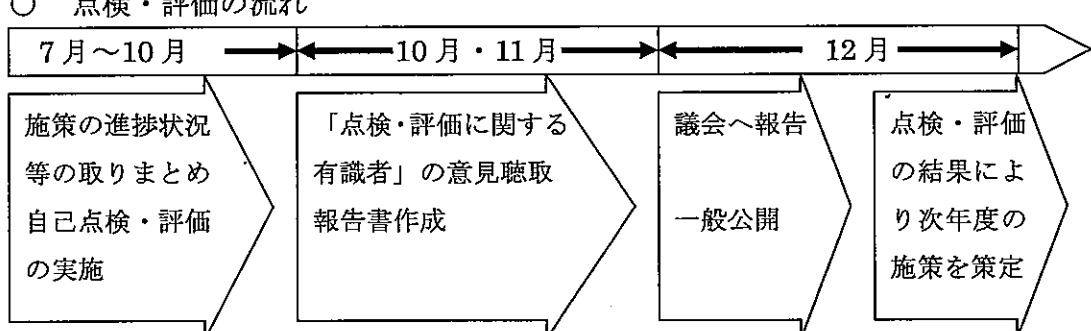
- 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価（以下「点検・評価」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき実施するものです。

### （参考）

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（関係条文抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。  
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

- 点検・評価は、前年度の事業を対象とします。
- 上記に関連する事業は、事務事業一覧表のとおりです。
- 点検・評価は、事業それぞれについて所管係が点検・評価シートを作成し、目的、内容、達成状況、事業の課題について検討した結果を総合的に判断し、A（期待以上）、B（期待どおり）、C（やや下回る）、D（期待以下）にわけて自己評価を行いました。
- 点検・評価については、教育に関し学識経験を有する第三者に外部評価をしていただきました。
- 点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を豊前市議会（文教厚生委員会）に報告するとともに一般に公開します。
- 点検・評価の結果により、評価の高い事業は引き続き実施し、評価の低い事業は課題の解決や、見直しを検討していきます。
- 点検・評価の流れ



豊前市教育委員会点検・評価事務事業一覧

大区分	小区分	事務事業	ページ
就学前教育	1 楽しく充実した幼児教育	1 小・中・高校、幼稚園及び保育所の連携 1 小規模校の教育活動の充実 2 学校施設の機能更新 3 特別支援教育総合推進事業の取組 4 学力向上に向けた取組 5 心の問題への対応 6 指導体制(環境面)の充実 7 効率化・安全性を考慮した学校給食	1 2 3 4 5 6 7 8
学校教育	2 楽しく充実した学校		
社会教育	3 社会教育推進体制 4 青少年教育 5 社会人への支援 6 公民館運営	1 社会教育主事の活用と育成 1 体験学習の推進 2 学社融合の推進 3 地域との連携 1 学習機会の提供 2 各種団体への支援 1 地域情報発信事業 2 施設の機能強化	9 10 11 12 13 14 15 16
スポーツ・レクリエーション	7 地域スポーツの振興 8 レクリエーションスポーツの普及 9 施設の整備	1 地域総合型スポーツクラブ事業 1 指導者の育成 1 体育施設の整備	17 18 19
生涯学習	10 生涯学習体制 11 情報の一元化 12 出前講座	1 豊前市生涯学習推進計画 1 生涯学習プログラムの構築 1 市役所職員による出前講座の実践 2 ボランティアの派遣	20 21 22 23
文化財の保護と活用	13 文化財の整備と活用 14 文化財の公開 15 無形民俗文化財の伝承 16 人材の育成	1 国史跡「求菩提山」の整備 1 教育普及活動の推進、施設の整備活用 2 各種情報の発信 1 関係団体の組織化、伝承事業の展開 1 ガイドボランティアの支援	24 25 26 27 28
芸術文化の振興	17 芸術活動 18 読書活動	1 複合施設の活用、文化事業の実施、場の提供 1 市立図書館の充実 2 校図書館との連携	29 30 31

## 就学前教育

### 1 楽しく充実した幼児教育

早期からの情報提供や相談会の実施などによる柔軟できめ細かな対応ができる一貫した支援体制を整え、保護者の意見を尊重した就学先を決定する。

#### 【点検・評価シート 就学前教育】

小区分	1	事務事業	1		
小区分	楽しく充実した幼児教育				
事業名	小・中・高校、幼稚園及び保育所の連携	担当係	学校教育係		
事業の目的	適正な進路の決定				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士による知能検査や複数体制での就学（教育）相談を行い、幼児の様子について保護者の意見・意向の聞き取りをする。これをもとに必要に応じて教育支援委員会で審議し、保護者の意見を尊重しながら進路を決定する。</li> </ul>				
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学（教育）相談件数延べ34件（前年29件）。教育支援委員会での判定件数17件（前年9件）。</li> <li>・幼稚園、保育園、福祉施設と連携し、就学に不安を持つ保護者や、課題をかかえる幼児の保護者に働きかけを行い、就学（教育）相談を促すことにより不安を軽減する。</li> <li>・専門家による助言をもとに、相談者の障害程度や教育的ニーズに応じた就学先決定を支援する。</li> </ul>				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園への巡回相談を年2回実施することで、より広く深い情報を収集することができた。</li> <li>・就学先の学校への情報提供が早期に可能となり、入学前の準備ができ、入学後の迅速かつ適切な対応につなげることができた。</li> <li>・特別支援教育の取組みが、幼稚園・保育園ごとに差があり、特別に支援を要する幼児の情報共有や就学時を見据えた連携が不十分な場合がある。</li> </ul>				
評価	A	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会の更なる支援体制の充実を図る。</li> <li>・園訪問で共有できた情報をもとに、子どもを中心に据えた上で、保護者への気づきを促したり意識啓発をしたりできるよう園との連携を強化する。</li> </ul>
-------	--

## 学校教育

### 2 楽しく充実した学校

教育内容及び教育環境を充実させることは、学校教育を充実する上で最も重要な施策であり、小規模の教育活動、学校施設の機能更新、特別支援教育など、楽しく充実した学校づくりに向けて様々な取組を行っている。

#### 【点検・評価シート 学校教育】

小区分	小区分	2	事務事業	1	
小区分	楽しく充実した学校				
事業名	小規模校の教育活動の充実		担当係	学校教育係	
事業の目的	小規模特認校制度を継続し、児童・生徒数の少ない学校でのきめ細やかで特色ある教育に取り組み、児童・生徒数の増加を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加配教員の配置等により小規模校の活性化を図る。</li> <li>・PRの実施。小・中との合同行事や、地域住民の参加行事を増やし地域との繋がりを深める。</li> </ul>				
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間での児童数による格差（複式学級等）を解消するため、小規模校へ市費負担非常勤講師を配置した。</li> <li>・大村小学校、合岩小学校の児童数の減少が著しいため、平成21年度に通学区域審議会を開催し、2校を小規模特認校とし、平成22年度から募集を開始した。平成23年度に合岩中学校を追加した。各学校の特色を生かした教育を展開し、児童・生徒数の増加を図った。</li> <li>・今年度も5月に合岩小・中学校の合同運動会を開催し、小・中学校の枠を超えた縦割りの共同教育活動を実施できた。</li> <li>・平成26年度より新たに豊前市市費負担常勤講師を任用できる制度を設け、小規模校の複式学級解消に努めた。</li> <li>・豊前市の市報に11月号より5ヶ月連続で、小規模特認校の児童・生徒募集に関する記事を掲載した。</li> </ul>				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒数の減少による学校間の格差や保護者の不安感がある。</li> <li>・市費負担非常勤講師の人材確保が困難である。</li> <li>・中学校の小規模校では、部活動が充実していない、人間関係が固定するなどを心配する声が聞かれる。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数の減少に伴い、小規模校の複式学級化及び少人数化が懸念されるため市費負担非常勤及び常勤講師任用の充実を図り、複式学級の解消に努める。</li> <li>・特色ある教育活動を更に推進し、小規模校の児童・生徒数の増加を図る。</li> </ul>
-------	---

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	2	事務事業	2		
小区分	楽しく充実した学校						
事業名	学校施設の機能更新		担当係	教育総務係			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校施設の修理・修繕を行う。</li> <li>・建物の非構造部材（設備や天井仕上げ材等）の耐震化を図る。</li> <li>・屋上防水や外壁劣化、トイレ等の長寿命化大規模改修を行う。</li> </ul>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和50年代建設校舎が一斉に老朽化しているため、修理・修繕を行う。</li> <li>・文部科学省が緊急で進めている建物の非構造部材（照明器具等の設備機器・天井材）の耐震化を中心に改修を進める。</li> <li>・現在のニーズに沿わないトイレの間取りや設備器具の取り替えを行い、児童・生徒の学校生活環境を改善する。</li> </ul>						
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千束中学校の校舎外壁改修工事及びトイレ改修工事を実施した。トイレは職員用、生徒用、給食調理員用の改修と、多目的トイレを新設した。</li> <li>・非構造部材の耐震化（小中学校体育館の天井）工事に向けて工事設計を実施した。来年度から工事着手の予定である。</li> </ul>						
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千束中学校の校舎は築後30年以上を経過しており、老朽化による屋上の漏水や外壁落下の危険性があり、トイレは使いづらかった。今回、防水も含めた外壁改修工事とトイレの改修工事を実施したこと、施設の長寿命化が期待される。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の老朽化に伴う修理・修繕費の増大。緊急を伴う修繕が突発的に発生することがあり、予算の確保に苦慮する。</li> <li>・学校施設は洋式トイレが少なく老朽化しているため、利用に抵抗感のある児童・生徒が多くなっている。今後は乾式、節水型トイレへの変更、洋式トイレ化・多目的トイレの増設などの改修が必要である。</li> <li>・照明設備が学校建設当初からのものであるため、器具の劣化や消費電力が大きい。今後は高効率型のLED照明に移行していく必要がある。</li> <li>・長期の工事期間を要する大規模改修は、学校教育活動に少なからず制限を強いることになる。体育館等の改修の場合は部活動の代替場所の確保はもとより、移動手段等を含めた対応が必要になる。</li> </ul>						
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下		

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度、千束中学校の校舎改修工事を終了した。今後も安全で安心な学校施設の改善に努める。</li> <li>・本年度、文部科学省が進めている体育館の非構造部材耐震化の実施設計を行ったので、来年度より改修工事を実施していく。</li> </ul>
-------	---

【点検・評価シート 学校教育】

小区分	2	事務事業	3		
施 策 名	楽しく充実した学校				
事 業 名	特別支援教育総合推進事業の取組	担当係	学校教育係		
事業の目的	障がいのある児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うために、その体制の整備を総合的に推進する。				
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の巡回相談対象児童・生徒に対し、臨床心理士等による心理支援や築城特別支援学校の教員による学習支援等により、一人一人の障害の状態や特性に応じたきめ細かな指導を図る。</li> </ul>				
平成 26 年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回相談が必要な学校は積極的に申請し、臨床心理士、言語聴覚士、特別支援学校教員等による巡回相談が実施できた。</li> <li>・実施校では特別に支援を要する児童・生徒の実態把握や具体的な支援方法等について学び、支援体制を見直したり、新たな手立てを立てたりすることができた。</li> </ul>				
成 果・課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より県委託金がなくなり市単独での実施をしている。特別な支援を必要とする児童・生徒は年々増加傾向にあるが、十分な対応ができた。</li> <li>・巡回相談・指導に対するニーズは確実に高まっているので、今後も相談件数が増加することが予想される。</li> <li>・県委託により「早期からの支援体制・構築事業」を昨年度より実施しており、幼稚園・保育園等への支援も行っているため、今後も事業の成果・課題をもとに充実を図っていかなければならない。</li> </ul>				
評 価	A	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の相談を学校全体の指導の工夫と指導体制づくりに生かしていくことが大切である。</li> <li>・学校によって巡回相談件数を実施する回数に偏りがあるため、年度当初に各学校に希望をとり、相談件数を配分することで、見通しを持った相談活動にする必要がある。</li> </ul>
-------	--

【点検・評価シート 学校教育】

小区分	2	事務事業	4		
施 策 名	楽しく充実した学校				
事 業 名	学力向上に向けた取組	担当係	学校教育係		
事業の目的	学習指導要領の趣旨に則り、教育課程の適正な管理に取組み、児童・生徒に学習の量と質を保障する。				
平成 26 年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の学力実態を正確に多面的に把握し、指導方法の改善に生かすために、国・県レベルの学力テストに加えて、標準学力検査も継続実施する。</li> <li>・教育委員会の研究指定校制度（指定期間は2ヶ年で毎年小学校2校、隔年中学校1校が発表会をするようにローテーションを組んでいる）を実施し、校内研究を計画的・継続的に推進し、研究成果を公開することで、児童・生徒が基礎・基本を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力を育み、確かな学力を育成することができるようとする。</li> <li>・学力・学習状況調査の結果、本市小学校は理科Bをのぞいてすべて全国平均を上回る正答率、すべてに置いて県平均を上回る正答率であった。中学校においては、理科B以外はすべて全国を下回る正答率であった。</li> <li>・今年度の研究指定校の発表内容は、八屋小学校の道德、角田小学校の防災（県の重点課題）であった。2校とも全学級の授業を公開し、豊前市のみならず京築管内小・中学校に向けて成果を発表した。</li> </ul>				
成 果 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力調査の結果を生かした各学校独自の取組が推進されている。</li> <li>・全国学力・学習状況調査での正答率が年々上昇している。</li> <li>・学校間格差は否めないが、豊前市全体としての取組の推進を図り、ボトムアップをしていくことが必要である。</li> </ul>				
評 値	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準学力検査結果を有効活用するための研修会を実施する。</li> <li>・研究指定校制度については、各学校の実態に合った教科等に</li> <li>・研究発表会後に課題を整理し、各学校の児童・生徒の実態にたって、次年度の実践に生かす。</li> </ul>
-------	---

【点検・評価シート 学校教育】

小区分	2	事務事業	5		
小区分	楽しく充実した学校				
事業名	心の問題への対応		担当係 学校教育係		
事業の目的	様々な事例に対応できるように、相談窓口の多様化・充実を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いじめ」や「不登校」などの諸問題に対しては、教職員の指導力強化及び家庭や地域社会と一体となった取組の充実を図る。</li> <li>・ 適応指導教室を継続し、充実・促進を図る。</li> <li>・ 相談窓口として教育相談室にカウンセラーを配置する。(6日／月)</li> <li>・ 県費による各中学校へのスクールカウンセラーを配置する。</li> </ul>				
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カウンセラーと各学校教職員との連携による「いじめ」や「不登校」等への対応の徹底と豊かな人間性を育む教育活動の推進が図られている。</li> <li>・ 教育相談室では、子育てや子どもの発達状態等で不安を抱える保護者（主に母親）がとぎれることなくカウンセリングを受けている。相談件数は年間344件（来所：598件、電話：35件）であった。なお、教員・保護者を対象に教育講座を年2回開設し、子育てや児童・生徒支援に役立つカウンセリングの手法等について研修会を実施した。</li> <li>・ 不登校児童生徒の居場所及び学校への復帰準備の場として、適応指導教室が貴重な受け皿となっている。</li> <li>・ 各中学校の生徒は、スクールカウンセラーが派遣された日には相談件数が増加している。</li> </ul>				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談の時期が重なり順番を待たなくてはならない時があるため、相談日を増やす等の対応が必要である。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談の時期が重なり順番を待たなくてはならない時があるため、相談日を増やす等の対応に努める。</li> <li>・ 県のスクールソーシャルワーカーの積極的・組織的な活用を図る。</li> </ul>				

【点検・評価シート 学校教育】

小区分	2	事務事業	6-
-----	---	------	----

小区分	楽しく充実した学校				
事業名	指導体制（環境面）の充実	担当係	教育総務係		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する学校教育について、子どもの「生きる力」を育み楽しく充実した教育を推進する。個性や価値観を尊重し、お互いを認め合う心や社会の変化に的確にかつ柔軟に対応できる力など、人間性豊かでたくましい子どもたちを育成するために学校の教育環境を充実させる。</li> </ul>				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活において支援が必要な児童・生徒の適切な就学補助活動を行う。</li> <li>コンピューター教育では、設備とサポート体制の確立と、教職員へのP C教育の積極的な活用の推進を行う。</li> <li>小・中学校に英語教育の助手を配置する。</li> </ul>				
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援が必要な児童・生徒には生活支援員を配置し、学校生活に支障がないように配慮している。</li> <li>コンピューター教育は、各小・中学校のパソコン教室にパソコンを配置している。ICT サポータを派遣し、指導者の育成と授業のしやすい環境を整えた。</li> <li>英語教育は、小学校には2名の非常勤講師、中学校には1名の外国語指導助手（A L T）を配置している。また、今年度から市雇用の英語講師を常勤で1名、小学校に配置した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校5・6年の必修にとどまらずに低・中学年の英語教育を実施し、英語の楽しさを実感させ、中学校へスムーズな移行ができる教育体制がつくられている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>P C機器のコストは高額であるが、それに見合う活用を各教員が積極的に行い、教育効果をあげてほしい。加えて、普通教室でのI C T授業にも率先して取り組んでほしい。</li> <li>学校では多様な支援を必要とする児童・生徒が年々増加している。支援員の人材確保と予算確保が毎年の課題である。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援員については、各学校の意向を充分に確認し、適切な配置を行っていく。限られた予算と人員で、できるだけ各学校の意向に沿えるよう、効率的かつ柔軟に対応した支援体制を整える。</li> <li>I C T教育では、教員各自がP Cを活用した授業に積極的に取り組むよう促していく。</li> </ul>
-------	---

【点検・評価シート 学校教育】

小区分	小区分	2	事務事業	7	
小区分	楽しく充実した学校				
事業名	効率化・安全性を考慮した学校給食		担当係	学校教育係	
事業の目的	おいしく栄養面を考慮した献立を策定する。				
事業内容	効率的な学校給食運営及び地産地消の導入を図る。				
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産米を完全使用し、平成21年度から米飯を週4回実施した。</li> <li>・地場産食材活用推進協議会（農林水産課・小中学校長代表・学校栄養職員・調理員・JA等で構成）、献立委員会（学校、調理員等で構成）を年3回開催し、地場産食材の学校給食への利用推進を図った。</li> <li>・毎月、地場食材の日は旬の地場野菜を取り入れた。</li> <li>・全ての食物アレルギー対象児童・生徒に対応食を実施した。</li> </ul>				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーのため除去食対応の児童生徒が増加傾向にあり、個々に対応した給食の提供をするための人員が必要である。</li> <li>・定年退職等により給食調理員が減少し、補充も無いことから、今後の給食供給体制を早急に見直す必要がある。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	今後、学校給食の民営化を推進し、具体的な学校給食運営の見直しの検討を進めていく。
-------	--

## 社会教育

### 3 社会教育推進体制

社会教育体制の確立は、長期的視野に立った取組が必要であることから、社会教育主事の育成を推進します。

【点検・評価シート 社会教育】

小区分	3	事務事業	1		
小区分	社会教育推進体制				
事業名	社会教育主事の活用と育成	担当係	生涯学習係		
事業の目的	・社会教育事業推進のため専門知識を有する人材を育成しその推進に努める。				
事業内容	文部科学省が実施する社会教育主事講習の受講。				
平成26年度 実施状況	・社会教育主事の育成を推進している。 ・平成23年度社会教育主事講習を受講した社会教育主事が、そのスキルを活かし後任者育成に取り組んだ。				
成果・課題	成果 ・社会教育主事の人脈や各団体へのパイプを活用し、社会教育全般に反映するよう、後任者に教示 came out. 課題 ・社会教育全体の範囲が広いので狙いや取り組みに偏りがある。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下
今後の対応	・さまざまな世代や地域、社会に対応するような社会教育を目指したい。				

#### 4 青少年教育

体験学習事業、子どもセンターの開設、子ども会育成活動への支援を行っています。

##### 【点検・評価シート 社会教育】

小区分	4	事務事業	1		
事業名	青少年教育				
事業目的	体験学習の推進	担当係	生涯学習係		
事業内容	自然体験活動を通して子ども達の生きる力を育む。 • 通学合宿やぶぜん自然体験塾、体験活動を通して生活習慣を身に付け、豊かな人間性や生きる力を身につけさせる。				
平成26年度 実施状況	• 通学合宿については全10小学校区のうち7小学校区で実施した。 • 野外体験活動に参加した児童が、豊前市ジュニアリーダークラブに関心を示し入部希望者が多数あった。 • 県助成事業の子どもの社会力育成推進事業では、小・中学生を中心に地域の清掃活動や、老人福祉施設訪問交流等を実施した。地域に貢献するボランティア精神の育成の一助となった。 (県費助成事業) 子どもの社会力育成推進事業 三毛門ド根性かぼちゃの会 300千円の交付決定を受け、事業展開をした。 • ぶぜん自然体験塾事業については、豊前市子ども夢応援事業補助金 75千円を活用した。				
成果・課題	成果 • 体験学習の必要性と活用、大人・子ども・地域のつながりによる自己肯定感の育成が図れた。 課題 • 地域によって活動に対する温度差や偏りがある。				
評価	A	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	・内容を深め、さらに多くの方々にプログラムや取組を広めたい。
-------	--------------------------------

【点検・評価シート「社会教育】

小区分	4	事務事業	2		
小区分	青少年教育				
事業名	学社融合の推進	担当係	生涯学習係		
事業の目的	学校教育と社会教育の融合により、子ども達へ質の高い学習を提供する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間や地域の人材を生かした学習の時間に、書道ボランティアを派遣する。</li> </ul>				
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書道教室に受講者として通い、一定以上の書道力を会得した者が講師となり、無償ボランティアという形で市内8校の指導にあたった。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育、生涯学習で培ったスキルを、学校教育の現場に生かす学社連携が実践できている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へのボランティア派遣は、学校とボランティアの意思疎通が大切である。学校の理解が必須条件となりコーディネーターが必要となる。コーディネーターは学校とボランティアの意思疎通のみならず、ボランティア同士の情報共有を図る上でのコーディネートが必要である。</li> </ul>				
評価	A	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	・コーディネーターの育成と、ボランティア員の新規加入者の開拓を進めます。
-------	--------------------------------------

【点検・評価シート 社会教育】

小区分	4	事務事業	3
小区分	青少年教育		
事業名	地域との連携		担当係 活動実施係 生涯学習係
事業の目的	家庭教育の向上と、地域教育力の活用を目指す。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育推進協議会を設置し、学校との連携で家庭教育講座を実施する。</li> <li>また、青少年育成市民会議との共催で、子育て中のママ・パパのためのコミュニケーションセミナーを4回実施する。</li> </ul>		
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学準備会時に市内小学校10校で、家庭教育の大切さを伝えた。</li> <li>・コミュニケーションセミナーは、参加人数も安定し、アンケート結果では大変好評で、再度セミナーを開いて欲しいという要望が多かった。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションセミナーからベビーマッサージ教室へと展開し、多様なプログラムが開催されるようになった。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を継続するために受講者数の安定が必要となる。</li> </ul>		
評価	A	A期待以上 B期待どおり Cやや下回る D期待以下	

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産・子育て世代に周知にあたり、広報を強化する。</li> </ul>
-------	---

## 5 社会人への支援

男女共同参画センターとしてのハートピアぶぜん、青少年ホームでの勤労者学習支援事業、高齢者大学による学習支援などを行っています。

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	5	事務事業	1
施 策 名	社会人への支援				
事 業 名	学習機会の提供		担当係	生涯学習係	
事業の目的	市民のニーズに合わせた社会人への学習機会の提供する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートピアぶぜん（働く婦人の家）、青少年ホームなどでの講座を実施する。</li> </ul>				
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートピアぶぜん（働く婦人の家）で12講座、青少年ホームで11講座を実施した。その他特別講座を実施した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な講座を受講することにより、充実した学びの時間を過ごして更なる高みを目指す受講者が大半を占めている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの方の利用が望まれる。</li> </ul>				
評 値	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・様々な価値観、ニーズに対応するような講座、講師の開拓を図る。
-------	---------------------------------

【点検・評価シート 社会教育】

小 分 類	社会人への支援				
事 業 名	各種団体への支援	担当係	生涯学習係		
事業の目的	社会教育団体との連携を通じて社会教育事業の推進を図る。				
事業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会連合会、ジュニアリーダークラブ、青少年育成市民会議、PTA連合会、青年団、ボーイスカウト会など各社会教育団体への支援を行う。</li> <li>・子ども夢応援事業を実施する。</li> </ul>				
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体が独自に事業を実施した。</li> <li>　　子ども会連合会 280千円補助、ジュニアリーダークラブ 180千円補助、 　　青少年育成市民会議 1,240千円補助、PTA連合会 70千円補助、青年 　　団、ボーイスカウト</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町に比べ、各種団体の活動は活発である</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容のマンネリ化による活動の停滞を活性化させる必要がある。</li> </ul>				
評 働	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間の活動量の差を是正するような啓発広報に努めたい。</li> </ul>		
-------	--	--	--

## 6 公民館運営

異世代間交流の促進や地域コミュニティー、情報発信基地としての見直しを行い幅広い業務の展開を目指し、施設の機能強化を図ります。

### 【点検・評価シート 社会教育】

小区分	6	事務事業	1		
小区分	公民館運営				
事業名	地域情報発信事業	担当係	生涯学習係		
事業の目的	情報発信基地としての機能強化を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイレクトな地域情報の発信拠点として、公民館施設を活用する。</li> </ul>				
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H22年に「豊前市生涯学習推進基本計画」の策定を行い、H23年度生涯学習推進協議会を立ち上げた。公民館の活性化について協議し、地域づくりの拠点として、地域活性化事業を進めている。</li> <li>・公民館の活性化については、特に予算化はしていない。</li> </ul>				
成果・課題	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの公民館が地域のコミュニティーとなり、子どもから高齢者まで地域活動の中心となり機能している。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先々では、市内12の公民館について、コミュニティーセンターとして一部指定管理も選択肢に含め、検討する。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

今後の対応	・コミュニティーセンターの概念を周知し、希望施設があれば、センター化を進めたい。
-------	--

【点検・評価シート 社会教育】

小区分	小区分	6	事務事業	2
小区分	公民館運営			
事業名	施設の機能強化		担当係	生涯学習係
事業の目的	地域の拠点施設としてコミュニティーを含めた施設運営を図る。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館を地域の活動拠点として活性化するため、社会教育施設としてだけではなく、福祉、子育て、防災などに対応できるシステムを構築する。</li> </ul>			
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合河、角田、三毛門公民館の3公民館に災害の際、受電困難事態に備え、太陽光発電施設及び蓄電設備を整備した。            合計 55, 663千円であった。            合河公民館太陽光発電設備設置工事 17, 064千円            角田公民館太陽光発電設備設置工事 17, 280千円            三毛門公民館太陽光発電設備設置工事 16, 945千円            設計委託 2, 592千円            監理委託 1, 782千円         </li> <li>・中央公民館の多目的トイレ増設、空調機更新を行いバリアフリー化と機能強化を図った。            合計 5, 550千円であった。            中央公民館多目的トイレ設置工事 2, 516千円            設計委託 302千円            監理委託 259千円            中央公民館空調更新・サイクルファン取付工事 2, 473千円         </li> <li>・千束公民館において壁面の防水補修と塗装を実施し、防水機能と美観を新たにした。            千束公民館東面・北面外壁補修工事 2, 916千円であった。         </li> </ul>			
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・築30年オーバーの建築物だがリニューアルし、利用者より好評を得た。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、社会的背景や利用者の要望をくみ取り対応したい。</li> </ul>			
評価	A	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る D 期待以下

今後の対応	・公民館の老朽化にともなう大規模改修、耐震診断を行う。次年度以降に千束公民館駐車場舗装、整備充実に努める。
-------	---

## スポーツ・レクリエーション

### 7 地域スポーツの振興

スポーツ人口の底辺拡大、競技スポーツにおける一貫した指導体制の確立などを目指します。

#### 【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

小区分	7	事務事業	1		
小区分	地域スポーツの振興				
事業名	総合型地域スポーツクラブ事業	担当係	スポーツ振興係		
事業の目的	地域での生涯スポーツ活動の推進を行う。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。</li> </ul>				
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、教室は13種目18教室、会員数約313名。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ活動支援事業補助金1,000千円を助成した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶぜんピープルズにおいては、ジュニアから高齢者までを網羅した生涯スポーツの一角を担っている。</li> <li>・27年3月、新たにNPO団体による総合型地域スポーツクラブ「よろいや」が、健康と介護予防等を目的に設立された。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立運営を目指すには活躍できる人材が圧倒的に不足し、さらに会員数の増減にも波があり、収入面で安定していない。このため、「ぶぜんピープルズ祭」で、広報活動の充実による新規会員の獲得、独自の新規事業などによる自主財源の確保など、財政面での充実が必要である。</li> <li>・設立された新しい団体については、財政支援が今後必要となる。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年度スポーツ基本法が制定され「スポーツ権(スポーツをする権利)」が、明文化された。これにより、総合型地域スポーツクラブが担う役割もさらに大きなものとなった。これに障がい者スポーツにも取り組む方向性も打ち出された。また、介護予防等に取組む団体も設立されたため、健康長寿推進課、福祉課、社会福祉協議会や各障がい者団体との連携を深めていきたい。</li> </ul>
-------	---

8 レクリエーションスポーツの普及

スポーツ推進委員など指導者の育成と組織化を進めています。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

小区分	8	事務事業	1
小区分	レクリエーションスポーツの普及		
事業名	指導者の育成	担当係	スポーツ振興係
事業の目的	高齢化社会であることから、生涯スポーツの普及を通して地域住民の健康増進を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員研修会など指導者の育成と、総合型地域スポーツクラブの事業実施に伴う指導者の開拓を行う。</li> </ul>		
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員が地区研修会に参加し、技術の向上に努めた。また、ニュースポーツ祭などでレクリエーションスポーツの普及を行った。</li> <li>・ぶぜんピープルズ運営委員会を3回、指導者部会を1回開催し、指導者間の情報交換を行った。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多種多様な競技種目間で情報交換を行い、指導者間の連携が図られている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手指導者の掘り起しが、必要である。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上      B 期待どおり      C やや下回る      D 期待以下	

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、各種スポーツクラブなど既存の指導者の研修を行い指導者の育成及び技術的な向上を図る。</li> </ul>
-------	--

9 施設の整備

公園型スポーツ広場などの整備を目指します。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

小区分	9	事務事業	1
小区分	施設の整備		
事業名	体育施設の整備	担当係	スポーツ 振興係
事業の目的	市民スポーツ推進のため、必要な施設の整備を行う。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動施設の整備をする。</li> </ul>		
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部運動施設多目的グラウンドの移動式バックネットを更新した。 (備品購入費 1,383千円)</li> <li>・市民体育館バレーコート支柱更新(3コート)とトレーニング機器追加をした。(備品購入費 2,208千円)</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バックネットの更新は加藤大輔後援会よりの寄付を一部利用し、地域のスポーツに役立てることができた。</li> <li>・バレーコート支柱はカーボン製の導入で軽量化が図られ安全性と取扱いが良くなった。</li> <li>・トレーニング機器はプロが使用するような機種が追加できた。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設とも経年劣化による老朽化が目立っている。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上    B 期待どおり    C やや下回る    D 期待以下	

今後の対応	・各施設とも計画的な整備が必要である。
-------	---------------------

## 生涯学習

### 10 生涯学習体制

職員に対し意識の徹底を図り、市民への情報提供を行います。

#### 【点検・評価シート 生涯学習】

小区分	生涯学習体制	小区分	10	事務事業	1
事業名	豊前市生涯学習推進計画	担当係	生涯学習係		
事業の目的	地域の課題解決のため、学習プログラムの構築、生涯スポーツの推進、公民館の活性化、地域の力を活かす を重点目標に事業を実施。				
事業内容	・H22 年に生涯学習基本計画の策定を行い、「豊前市生涯学習推進基本計画」に沿って豊前市生涯学習プログラムを市内全戸配布、生涯学習推進協議会を立ち上げ具体的な事業実施について協議を行い、併せて計画概要版を関係施設に配布し、その周知に努めた。				
平成 26 年度 実施状況	・公民館について新たな運用体制を検討すべく、公民館運営審議会へ説明協議を実施した。				
成果・課題	成果 ・各公民館で地域力や課題に特色があり、今後の運用体制の構築に向けて参考となった。 課題 ・今後、地域活性化に向けた具体的取組みを行うべく地元と協議したい。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・次年度以降の事業の内容を精査検討して、実りが期待できるビジョンを構築したい。
-------	---

## 1.1 情報の一元化

情報を一元化し、生涯学習センターなどと連携して活動の場、交流の場を確保します。

【点検・評価シート 生涯学習】

小区分	11	事務事業	1		
小区分	情報の一元化				
事業名	生涯学習プログラムの構築	担当係	生涯学習係		
事業の目的	生涯学習の推進を図る上で、全庁内でのイベント、施策などの情報を一元化。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進幹事会を構成し、各課からの情報提供を受けそのデータベース化を図る。</li> </ul>				
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のホームページ及びパンフレットを作成し、生涯学習情報として公開した。予算は92千円であった。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットにより、イベント施策などの理解が容易となり、広く浸透できた。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの存在の周知を図る。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、市のホームページなどで情報の一元化を図り、PR活動を行う</li> </ul>
-------	--

## 1.2 出前講座

市役所職員による実施を可能とするため、十分な職員研修が必要であり、職員の資質の向上が必要です。

### 【点検・評価シート 生涯学習】

小区分	出前講座	小区分	1.2	事務事業	1
事業名	市役所職員による出前講座の実践	担当課	生涯学習係		
事業目的	行政施策、行政情報を学習プログラムとして構築する。				
事業内容	・行政サービスの内容を学習メニューとして構築し、公民館などの学習会等で必要に応じて提供した。パンフレットでも紹介した。				
平成26年度 実施状況	・岩屋公民館 「岩屋の隠れた文化遺産」 生涯学習課 ・黒土公民館 「調理教室」 市民健康課 ・千束公民館 「歯と口の健康」 市民健康課 ・山田公民館 「高血圧について」 市民健康課				
成果・課題	・各課での工夫とPRが必要である。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・今後、市のホームページなどで情報の一元化を図り、PR活動を行う
-------	----------------------------------

【点検・評価シート 生涯学習】

小区分	出前講座	小区分	1 2	事務事業	2
事業名	ボランティアの派遣	担当係		生涯学習係	
事業の目的	「知の循環」としてボランティアの活用を図る。				
事業内容	・書道ボランティアの、学校への派遣を行う。				
平成26年度 実施状況	・書道ボランティアは、小学校8校で実施した。				
成果・課題	・派遣分野の拡大を図るため、ボランティアセンターの機能強化が必要である。 ・一層の充実のために専門部会を開き、意見を伺う。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	・今後、市のホームページなどで情報の一元化を図り、PR活動を行う
-------	----------------------------------

## 文化財の保護と活用

### 1.3 文化財の整備と活用

文化財を活用した教育普及活動は最も重要な施策で、求菩提資料館や各種講演会、学校への出前歴史授業、出版物での紹介などを行っています。

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	13	事務事業	1		
小区分	文化財の整備と活用				
事業名	国史跡「求菩提山」の整備	担当係	文化芸術係		
事業の目的	国史跡の活用を行うため、主要な参道の整備（ルート整備）を実施し、見学者の安全と利便性を図る。整備を進めるため国史跡指定地の公有化を進め、また、求菩提地区の重要文化的景観「求菩提の農村景観」の保護推進を実施する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国史跡「求菩提山」ルート整備等を行う。</li> </ul>				
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国史跡整備事業ではルート整備の一環として「五窟の道」修復工事の3年次を実施した。</li> <li>・史跡の土地公有化については、氷室に隣接する土地（5,477 m<sup>2</sup>）を取得した。</li> <li>・文化的景観保護推進事業では、地元との連絡調整のための組織として「求菩提の農村景観地区連絡協議会」として立ち上げ、次年度以降の整備事業実施箇所を選定した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五窟ルート3ヵ年計画が終了、主要な参道の整備を進めた。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を要し長期にわたる事業であり、今後進める国史跡公有地化の分野も専任の担当者が必要。現在の整備はルート中心に進めているが、近年、石垣や石段だけでなく岩屋坊など山中の建造物にも経年劣化の問題がある。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート以外の、史跡を構成する重要な構成要素である建造物等の対策が必要。</li> <li>・文化的景観保護推進事業については保存整備の事業化にむけての組織化を進めており、今後は整備の方針を決めて条例整備などで保護推進事業を具体化していく。</li> </ul>				

## 14 文化財の公開

市内中心部に展示施設を併設した施設を整備し、さまざまな情報の提供を行います。

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	14	事務事業	1		
小区分	文化財の整備と活用				
事業名	教育普及活動の推進と施設の整備活用	担当係	文化芸術係		
事業の目的	施設を利用して調査収集した文化財資料を一般に公開することにより地域の歴史に対する理解を深め、ひいては文化財愛護精神の高揚、並びに地域文化の再認識につなげる。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求菩提資料館の常設展での修驗道文化の紹介や企画展の開催、出前歴史教室またはセンターでの校外学習受け入れ等により、埋蔵文化財を通じて地域の歴史の理解を促す。</li> <li>・埋蔵文化財センターを一般公開し、校外学習や学童保育、職場体験学習などでの活用を進めている。</li> </ul>				
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求菩提資料館は、開館40周年を記念して特別企画展、特別市民歴史講座を2回開催、ふるさと写真コンクール入選作品展、ミニ企画展をした。</li> <li>・出前歴史講座は市内小学校3校、公民館（夏休み朝学習）1館で実施、小学校のセンター見学が2件あった。</li> <li>・埋蔵文化財センターでは、第2回企画展「けいちく発掘速報展」、「小今井乘桂展」、スポット展示「豊前の城と館」を実施した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求菩提資料館は年間入館者13,232人（前年度19,827人）、減少の一因は、通常年には、資料館で年間4回開催している市民歴史講座が、総合福祉センターでの特別市民歴史講座実施となったこと等が考えられる。</li> <li>・埋蔵文化財センターの年間入館者数2,339人（前年度同時期入館者数2,149人、190人増）</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料館については以前から設備の老朽化と、天候に左右されやすく駐車スペースにも乏しい立地が問題である。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の保存・展示については、求菩提資料館と文化施設が連携し、施設相互に見学者の流れが出来ることを目標にする。</li> <li>・求菩提資料館の老朽化等の問題については、県施設であることから今後について県担当課と協議していく</li> <li>・埋蔵文化財センターは今後も企画展等で活用を促す必要がある。</li> </ul>				

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	14	事務事業	2		
小区分	文化財の公開				
事業名	各種情報の発信	担当係	文化芸術係		
事業の目的	豊前市内の文化財の情報を、インターネットや冊子資料を通して外部へ発信し、全国に豊前市を PR する。また豊前市のイメージ作りと、観光客への情報提供の手段とする。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式ホームページを活用し、民俗芸能情報や指定文化財の紹介をインターネットで配信するほか、紙媒体（ガイドブック等）についても活用する。</li> </ul>				
平成 26 年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式ホームページに当年度の神楽奉納日程情報などの民俗芸能情報や指定文化財の紹介を掲載。多目的文化交流センターの豊前市、京築地域の民俗芸能に関する展示コーナーでは映像資料の閲覧を実施している。</li> <li>求菩提道の道標を移転されていた箇所から本来に近い箇所へと戻し、市民への理解・啓発のため、文化財説明板を設置した。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紙媒体や企画コーナーについては平成 26 年度以降の活用を想定している。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用可能な媒体全ての活用を図る。</li> <li>文化財の周知については、今後も指定物件に変動が予想されるため、その都度情報更新が必要である。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>神楽の奉納日程・奉納場所アクセス情報などの問い合わせが例年多く、より詳細な内容が求められているため、特に需要の多い項目の周知化に重点をおきたい。</li> </ul>
-------	--

## 1.5 無形民俗文化財の伝承

新たな体制整備を行い、支援体制の確立を目指します。

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	15	事務事業	1
小区分	無形民俗文化財の伝承		
事業名	関係団体の組織化と伝承事業の展開		担当係 文化芸術係
事業の目的	伝承団体相互の連携を強め、また伝統芸能の伝承を通じて地域コミュニティの構築に寄与し、地域の伝統文化の継承の一助とする。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊前岩戸神楽保存会などの運営を行う。</li> <li>・様々な助成事業などを通じ伝承事業の支援を行う。具体的には事前に保存団体の状況を把握し、市の助成金制度や他団体の制度を紹介しながら、必要な支援を行う。</li> </ul>		
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存会例会において各神楽講で情報交換し、民俗芸能調査の依頼や京築アメニティ関連イベントなどの出演依頼に関する業務を円滑に行う。</li> <li>・伝統芸能団体の広報関連業務や装束・道具類の作成・修理などを助成対象とする。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗芸能の豊前市外への周知化ができた。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽以外の民俗芸能については、実施期間や場所が限定されるものもあり、団体毎に相違があるため、現在は個々の団体に対応する状態である。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上    B 期待どおり    C やや下回る    D 期待以下	
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神楽以外の民俗芸能についての助成を進める必要がある。</li> <li>・事業の継続、保存団体に対する年間の補助及び保存団体または所有者が行う保護事業などでの補助基準の整備。</li> </ul>		

## 16 人材の育成

ガイドボランティアについて更なる充実を求め、外部からの来訪者に対して均質的なサービスの提供を目指します。

### 【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

小区分	16	事務事業	1
小区分	人材の育成		
事業名	ガイドボランティアの支援	担当係	文化芸術係
事業の目的	官民協働を推進し、地域の人材を活用して活性化を図る。		
事業内容	求菩提資料館を拠点として、史跡を紹介するガイドボランティアの支援をする。		
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般見学者向け又は学校の校外学習等での史跡ガイド要請への対応の他、求菩提資料館の企画展やミニ企画展時の展示替え、館内巡回その他イベントの作業等を実施し、福岡県観光ボランティアガイド大会等の研修にも参加した。岩屋坊の清掃活動も行った。月例会の際に、スキルアップのための養成講座を実施した。</li> <li>豊前市自然と文化財を守る会からボランティア保険料などを補助するほか、市マイクロバスを利用した外部研修などの協力を実行している。また埋蔵文化財センターの活用促進とメンバーのスキルアップを兼ねて、25年度から、埋蔵文化財センターの土日祝日の管理・案内をガイドボランティアの会に委託している。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ガイド出動件数 24 件、案内人数計 322 名（前年度計 32 件、595 名）</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メンバーの高齢化問題は依然あり、新たな人材の確保と育成が急務。養成講座を続けているが、参加メンバーは固定化していて新規メンバーの定着が少ない。</li> <li>ボランティアガイドには森林セラピー事業や、文化財に限らない観光面での需要もあり、従来の文化財ガイド業務の水準を保ちつつ、活用の場を広げるために、実働可能なメンバーの確保が急がれる。</li> </ul>		
評価	B	A 期待以上    B 期待どおり    C やや下回る    D 期待以下	
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規メンバーの募集を進める。</li> <li>求菩提資料館以外にも埋蔵文化財センター、多目的文化交流センター等、文化財展示設備を有する文化施設を含めたプログラムの定着を図る。</li> </ul>		

## 芸術文化の振興

### 17 芸術活動の支援

文化施設の整備や、活動環境の整備を行い、文化活動の推進を図り、参加による体験を通した芸術文化の振興を行います。

#### 【点検・評価シート 芸術文化の振興】

小区分	17	事務事業	1		
事業名	複合施設の活用、文化事業の実施、場の提供				
担当係	文化芸術係				
事業の目的	多目的文化交流センターの活用と、老朽化した市民会館の改善対策を行い、市民に上質な文化芸術のサービス提供を行う。心豊かな市民生活形成の一助とする。				
事業内容	・多目的文化交流センターを、市民会館と共に文化活動の拠点とする。				
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的文化交流センターは県民文化祭「スwingシティー」、第12回豊前市美術展、京築地域の神楽定期公演等に活用した。</li> <li>・市民会館では子ども文化事業として、「こどものための音楽会」クリスマスピアノコンサート、夏休み子ども映画館・春休み子ども映画館、漆工芸教室を実施した。自主文化事業としては豊前寄席「林家たい平」を開催した。</li> </ul>				
成果・課題	<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的文化交流センター年間入場者数 28,724人（前年度 330,542人）年間利用件数 3,672 件（前年度 3,696 件）であった。減少は 25 年度に市民体育館の改修工事の為、軽スポーツ関係者が代替施設として増加していたものが終了したのが主な理由である。</li> <li>・市民会館年間利用件数 397 件（前年度 273 件）。市民会館も老朽化・施設の使い分けの影響か、利用数は減少傾向にある。しかし、定着した利用者層も存在し、今年度も自主文化事業・子ども文化事業の映画上映会やコンサート、第40回文化協会文化祭の会場とした。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館はバリアフリー設備の不足と老朽化が問題で、現在は対症療法的な小規模修繕を重ねているが、このまま使用を続けるなら抜本的な改築か建て直しを要する。</li> </ul>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画の内容に応じた使い分けは定着しつつある。</li> <li>・市民会館については豊前市公共施設等総合管理計画において立替は避けられない状況と指摘を受けているため、根本的な見直しを要する。</li> </ul>				

## 18 読書活動

図書館の充実、学校図書館の支援、ボランティア活動の支援をしていきます。

### 【点検・評価シート 芸術文化の振興】

小区分	18	事務事業	1		
小区分	読書活動				
事業名	市立図書館の充実	担当係	文化芸術係		
事業の目的	市立図書館をより一層の図書館サービスの充実を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館と移動図書館車の活用を行う。</li> </ul>				
平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館まつり、図書館講座、おはなし会、ブックスタート、企画展などを実施した。</li> <li>・平成20年度より図書館業務は指定管理者制度を導入した。26年度にかけて移動図書館のステーションを35ヶ所から39ヶ所に増やした。</li> </ul>				
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者数約13万人、貸出者数約2.58万人(前年度約2.45万人)、貸出冊数15万3千冊(前年度14万4千冊)、であった。</li> <li>・会議室の利用数(使用料の生じた外部利用件数)17件(前年度29件)であった。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の今後の有効活用、事業展開、読書推進活動を行うボランティア団体等との関係構築などが課題となっている。</li> </ul>				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の方法、企画の充実、連絡体制などの充実を図る。</li> </ul>				

【点検・評価シート 芸術文化の振興】

小区分	18	事務事業	2
小区分	読書活動		
事業名	学校図書館との連携	担当係	文化芸術係
事業の目的	学校と市立図書館を連携させることで読書推進に寄与し、資料の共有活用に努める。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出の推進と、学校教育活動に対する資料提供を図る。</li> </ul>		
平成26年度実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立図書館の指定管理者制導入後、団体貸出を継続している。その他の夏休み読書などの活動推進は現時点では係で担当している。</li> <li>・豊前市読書リーダー養成講座を市立図書館で実施した。参加数は市内9校の小学4~5年生21名であった。</li> <li>・平成20年度より図書館業務は指定管理者制度を導入した。</li> </ul>		
成果・課題	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度に実施した県主催の読書リーダー養成講座を今年度からは、市単独で豊前市小学生読書リーダー養成講座として発足させた。市内の小学校10校を対象に行ったアンケートの結果、「読書リーダー養成講座に参加したことでの効果があったか」とする設問では、すべての小学校が「効果あり」と回答している。それを裏付けるように、市内の児童1人当たりの学校図書貸出数の平均が、年間15.1冊から18.0冊と3冊弱ほど上昇している。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度より指定管理者制の導入でサービスの維持・発展が課題である。</li> <li>・現在、移動図書館車協議会でステーションになっている施設の担当者と図書館との協議の場を年1回設けている。学校図書館司書の人員配置に伴い、学校司書と図書館の意見交換等の場も今後必要と考えられる。</li> </ul>		
評価	A	A期待以上 B期待どおり Cやや下回る D期待以下	
今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書リーダー養成講座の継続化など、学校・市立図書館・各学校を拠点とする読書推進ボランティアの連携を図る取り組みを行う。</li> </ul>		

## 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、8年継続で点検・評価に取り組み、必要な改善が行われ、年々充実したものになってきている。また、昨年度見直しを行った様式は、事業内容の合理性や妥当性の検証が容易にできる構成になっている。

「学校教育」に関しては、8事業中A評価が2事業、B評価が6事業と全ての事業で全体としては期待どおりの評価がされているが、一方で、個々の事業の個々の事象に目を向けると、長年の懸案や今後の課題も多く、解決に向けた早急な対応に努めていただきたい。主な課題としては、特別支援教育の推進と同時に園と小学校との情報共有と連携、小規模校の複式学級の解消、学校施設の老朽化、学校間の学力格差、年々増加する教育相談、学校給食の運営のあり方及び地産地消の推進などがあげられる。

「社会教育」に関しては、8事業中A評価が4事業、B評価が4事業で「体験学習の推進」「学社融合の推進」「地域との連携」が昨年度に引き続き、期待以上に評価されている。それに、昨年度課題としてあげていた「施設の機能強化」(公民館運営)が加わったことは前進であり、今後の更なる取組に期待したい。

「スポーツ・レクリエーション」に関しては、子どもから高齢者まで健康づくり等を目的とした生涯スポーツの推進や、子ども達に一流のアスリートの技術に触れる機会を提供するスポーツ活動の環境づくりが充実されている。今後は、障がい者スポーツへも積極的に取り組んでほしい。関係課や関係する団体との連携を深め、これからも継続した取組と施設の整備に向けて更なる努力を期待する。

「生涯学習」に関しては、豊前市生涯学習推進基本計画に沿って、地域の活性化を図り、ボランティアセンターを強化し、職員に対して生涯学習に対する意識の徹底等全庁的な取組が必要である。

「文化財の保護と活用」に関しては、国史跡の「求菩提山」と国の重要文化的景観の「求菩提の農村景観」の保護推進、無形民俗文化財として神楽の保護事業の継続が期待される。豊前市内の文化財等の周知については、インターネットや冊子資料を通して、より詳細な内容の広報の周知に努められたい。

「芸術文化の振興」に関しては、市民会館の老朽化の改善対策が避けられない状況にあり、施設に対する根本的な見直しが必要である。

平成26年度の全体の評価としては、概ね適正に実施され、各係において予算内で創意工夫された取組がなされている。今後とも教育委員会は、絶えず学校をはじめとする教育現場や地域の市民の視点から巡察し、現状把握と改善に努められたい。

平成27年11月25日

谷崎勝  
森重高岑

